

**2022年 国連グローバル・コンパクトのステークホルダーに向けた年次書簡**  
**CEO兼事務局長 サンダ・オジャンボより**

国連グローバル・コンパクト会員の皆様へ

世界で新型コロナウイルスのパンデミックが始まり3年目を迎えました。新型コロナウイルスの危機の下で、私たちは働き方の変化とそれがもたらした影響だけではなく、社会全体も変化していることを実感しています。

しかし、私たちは、どんな危機にもチャンスがあるはずと、この危機にも前向きに立ち向かっています。現在の世界の現実を把握し、私たち自身、私たちの組織、そして私たちの地球を、より持続可能な方向へと私たちが導くために、実行し始める機会なのです。

国連グローバル・コンパクトは、私たちが直面しているグローバルな課題にもかかわらず、いや、課題があるからこそ、前進を続けているのです。そして、国連グローバル・コンパクトの参加企業、スポンサー、後援者の数が増え、サステナビリティとGC10原則へのコミットメントがこれまで以上に強くなっていることに、私はとても勇気づけられています。

#### 官民連携の力

今回のパンデミックを通じて、私たちは官民連携のメリットを目の当たりにしました。防護服の提供、PCR検査、人道的支援、ワクチンの製造と配布において、官民連携が役立っています。しかし、公平性は依然として大きな課題です。北半球と南半球のワクチン配給の格差は歴然としており、容認できるものではありません。ワクチンが世界のすべての人へ公平に提供されるように、私たちがまとまって協力しなければ、ポストCOVIDの世界へ進むことはできません。

国連の価値観とGC10原則に基づく国連グローバル・コンパクトは、あらゆる地域や国の企業と連携し、広範な復興を支援することができるユニークな立場にあります。

例えば、私たちの新しいアフリカ戦略と中国戦略は、世界最大の成長市場と中国経済のグローバルな影響力の可能性を引き出すことを目的としています。

#### 持続可能な開発目標の推進

民間企業がより責任ある行動をとり、持続可能な開発目標(SDGs)を推進するように進めることは、私たちの活動の中核をなすものです。人と地球が共に繁栄できる未来を確保するために必要な、野心的な行動を加速させるために、大企業も中小企業も重要な役割を担っています。

国連グローバル・コンパクト2021-23年戦略で明確にされているように、私たちの野望は、GC10原則を支持し、SDGsを実現することによって、ビジネスのグローバルなコレクティブ・インパクトを加速させ、規模を拡大することです。この目的を達成するため、私たちはビジネスが大きな影響を与える7つの重点分野を通じて、世界の最も差し迫った課題の解決に力を注いでいます。腐敗防止、気候変動、人権、労働とディーセント・ワーク、ジェンダー平等、SDGsの統合、トランスフォーメーション・ガバナンスです。

#### 新たなエンゲージメントの機会

会員企業がサステナビリティ・ジャーニーのどこにしようとも、私たちの新しいエンゲージメントの機会は、企業がつながり、学び、リードし、コミュニケーションを図り、企業のサステナビリティの進捗をより早く、なおいっそう示すために役立つことでしょう。

国連グローバル・コンパクトでは今年より会員種別を一つに統合し、すべての会員がアカデミーを含むすべてのプログラムに参加できるようになります。

年会費の大幅値上げが予定される年間売上高が100億米ドル以上の超大企業は、その事業展開する国やバリューチェーンにおいて、より高い価値とより強力な関与の機会を得ることになります。2023年より会員に対して適用が予定されている新年会費は、私たちのミッションの実現に貢献し、次のことを可能にします。

- ローカル・ネットワークとリージョナル・ハブを強化することで、国レベルでの影響力を高めます。
- 強力なデジタル・インフラに支えられた、新しい改良されたプログラムを提供します。
- 中小企業への支援を強化し、多国籍企業や多くの国内企業、地元企業のバリューチェーンと連携することができるようになります。

今後の展望として、私たちの基盤は健全であることを認識しています。持続可能な地球と私たちの間に立ちはだかるのは問題ではなく、私たちの機敏さなのです。私たちは、これまでにない規模とスピードで行動しなければなりません。しかし、民間企業が正しい行動を行うようにするには、国連グローバル・コンパクトが最も適していると私は確信しています。サステナビリティに取り組む参加企業の数が増えているという点だけでなく、双方向のコミュニケーションを促進するような関係を築くと

いう点でも、私たちは時代の先端を走っていると思います。私たちは、参加企業を手引きするだけでなく、彼らの声に耳を傾け、サポートします。

幸いなことに、投資家や政府の間では、持続可能で安全な気候の未来への移行において、企業には重要な役割を果たす大きな機会があるという認識が広まっています。民間セクターは、2030年までにSDGsを達成し、2050年までに炭素排出量を半減させるための触媒として、企業金融と投資の未来を再構築する重要な役割を担っています。

#### コミュニケーション・オン・プログレス (CoP)

国連グローバル・コンパクトは、参加企業のサステナビリティ報告書の価値を高め、効率化するために、2023年から新COPを開始することを発表します。

新COPは、企業が目標を設定し、サステナビリティの進捗を確認するのに役立ち、自社のビジネス行動がGC10原則およびSDGsと整合するように、ビジネスケースを検証します。今年は、500社を早期導入プログラムに招待し、プラットフォーム、ツール、リソースへの早期アクセスを提供し、移行を支援します。

SDGsへの投資の見直し、気候変動への適応、社会的公正の格差への対応など、どのような取り組みであれ、私たちが力を合わせれば、地球の未来を守るだけでなく、今後数十年にわたってビジネスの強靱性を強化できると確信しています。

国連グローバル・コンパクトへの継続的な参加と強力なサポートに感謝します。より良い世界を目指すビジネスにおいて結束し、共に前進を続けましょう。

敬具



サンダ・オジャンボ  
国連グローバル・コンパクト CEO兼事務局長